

ナイスボールV使用上のご注意

- センサーの動作が多く、ランプの点滅が多い場所に使用しますとランプ短寿命の原因となります。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光ランプの交換の際は、必ず電源を切る。

必ず守る

●電源を切らないと感電の原因となります。

■器具のお手入れ

必ず守る

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
* 石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

●センサーが汚れていると誤動作したり動作しない場合があるので定期的に掃除をする。

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。

禁止

●みがき粉、ベンジンなど揮発性のもの、合成洗剤、化学ぞうきん、熱湯、殺虫剤

* 割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。

■点灯時および消灯直後はランプが熱くなっているので、触らない。

* やけどの原因となります。

接触禁止

●熱い危険

■必ず指定のランプを使用する。

* 指定以外のランプを使用しますと、器具が過熱し火災の原因になります。

必ず守る

●日立ナイスボールV (電球形蛍光ランプ)

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ
1 3 W ・ 1 灯	交流100V	50Hz-60Hz 共用	13W	ナイスボールV 13W EFD15EL／13B(口金:E26)	

アフターサービス

- もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名
ご購入年月日

電話
年 月 日

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

人検知センサーつき
ポーチライト RBW5634H

HITACHI
Inspire the Next

防雨形

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意



- このような場所には取り付けない。(この器具は壁面取り付け専用型です。)

禁止

●逆向き取り付け ●横向き取り付け ●取り付け面が凸凹 ●取り付け面がせまい ●湿度の高い所

- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。
* しろ工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。
* アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。
* 火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
* 感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。
* 過熱し、火災の原因となります。



- 定格電圧交流100V以外で使用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。
* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光ランプの交換は、必ず電源を切る。
* 電源を切らないと感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっているので触らない。
* やけどの原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。
* 器具の落下によるけがの原因となります。

器具を取り付ける前に

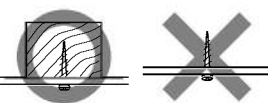
■取り付け工事をされる方へ…取り付け工事が終わりましたら、この説明書はお客様にお渡しください。



必ず守る

●器具は強度的に十分な場所(補強材のある場所など)に取り付ける。

* 強度的に不十分な場所(板厚の薄い場所や、テックスなど)は器具の落下によるけがの原因となりますのでおやめください。

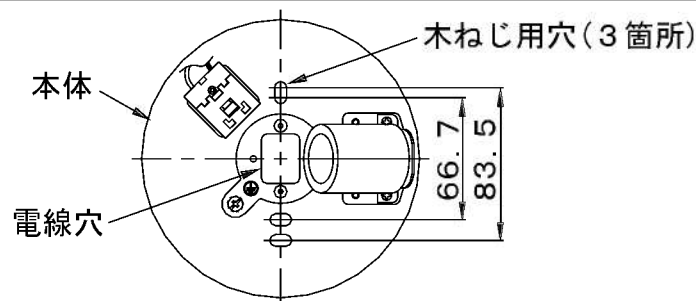


禁止

●プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。

* 器具の落下によるけがの原因となります。

●器具の取り付け穴寸法



●1つの壁スイッチには1台でご使用ください。(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)

●器具取り付け高さは3m以内に設置してください。

●センサー正面に向かって人が近づくような位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。

●センサーの特性上、検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。

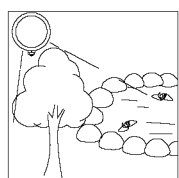
●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等から1.5m以上離して取り付けるかもしくは器具の取り付け方向を調整してください。

次のような場所には取り付けない。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

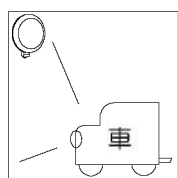


禁止

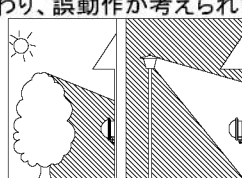
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



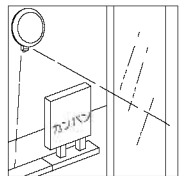
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



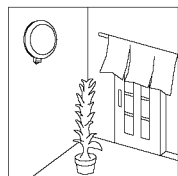
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
・取り付け環境により照度レベルが変わり、誤動作が考えられます。



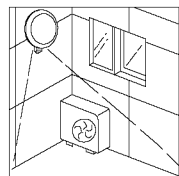
前面に障害物のある場所。(透明なガラスでも遮断されます。)



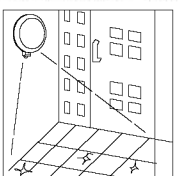
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



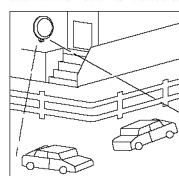
エアコンなどの排気口の近く。排気口に対向する場所。



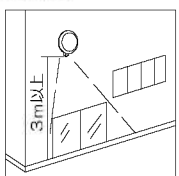
大理石など反射の強い床面のある場所。



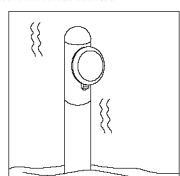
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが3m以上になる場所。



振動の激しいポールなど、不安定な場所。



故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置方法
ランプが短寿命である。	ランプ不良の場合がある。	振動でランプが切れる場合があります。
	振動が多い場所に取り付けてある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。振動がない場所に取り付けてください。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
	電球形蛍光灯器具でランプの点滅が多い場所で使用している。	検知エリアを調整してください。
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合にはセンサーが検知しないためランプが消えます。動くセンサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し、消灯して待機状態となります。 ※3
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。 P5
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。 P5
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。(緑色の表示灯が点滅している)	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONにしてください。設定されているセンサーのモードに戻ります。 P5
ランプが点滅する。	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。 ※4

※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱気化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴がセンサー表面に付着した場合や、水滴がセンサー前面を動いても反応する事があります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いためにセンサーが反応しないことがあります。

※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3 電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。(点滅間隔は約5分)この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置がひつようとなります。

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。

故障かな？と思ったら

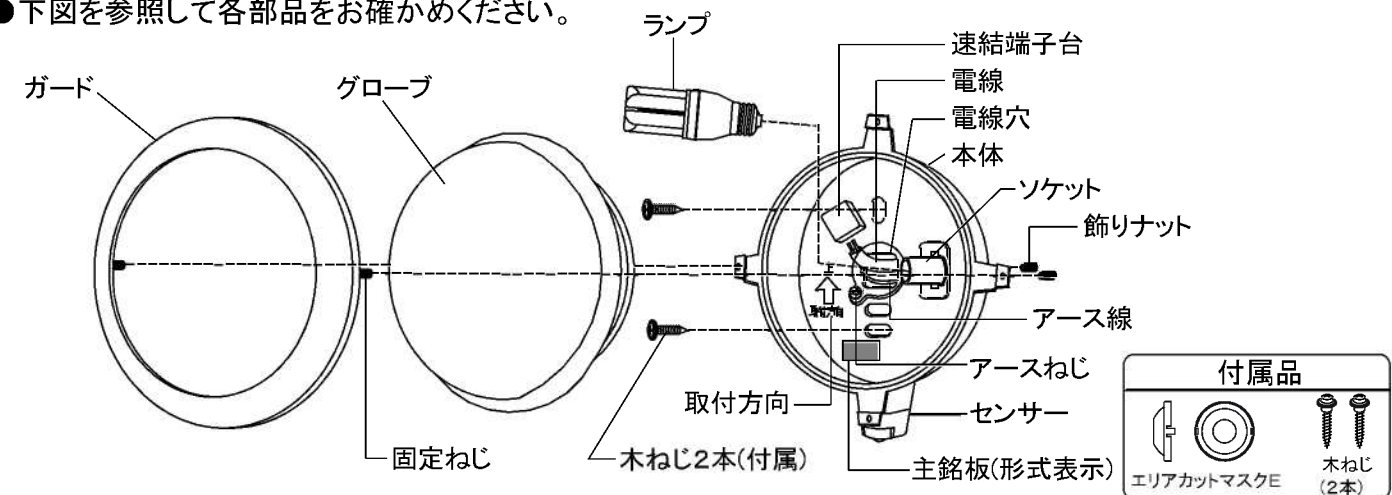
■もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗く なっても点灯 しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。 P5
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。 ※4
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
人が近づい ても点灯 しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためにコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知反応しない場合があります。 ※1
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。 P5
	センサーの表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽くセンサー表面の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。 P4
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。 P5
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
点灯した ままで消灯 しない。	連続点灯モードになっている。 (緑の表示灯が点灯している)	センサーモードに戻してください。 P5
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モード になっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。 P5
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。 P5
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。 ※1
	検知エリア内に、常にセンサーに反応するもの がある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。 ※2
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。 ※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこ れらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。 ※1
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
人が近づか なくても点灯 する。	照度センサーモードで、周囲が暗くなった。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。 P5
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	検知エリアから熱源を取り除いてください。 ※1
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。 ※1
	検知エリア内に、木や池の水面があり、風 でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。 ※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの 調整を行ってください。 ※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。 ※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)

各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して各部品をお確かめください。



器具の取り付けかた

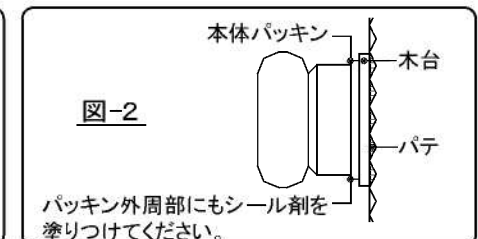
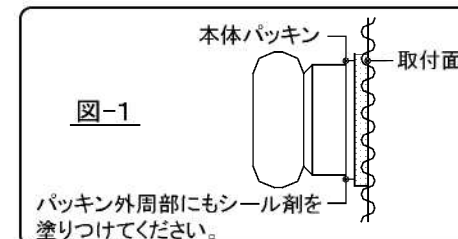
必ず電源を切ってから作業をしてください。

(1)飾リナットをはずし、本体からガードをはずしてください。
グローブを回して本体からはずしてください。

(2)本体を取り付けてください。

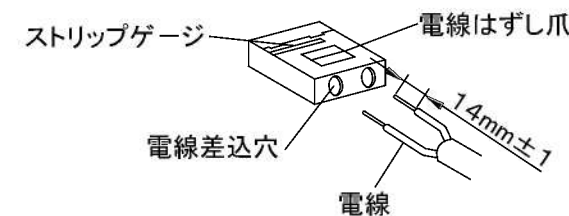
本体の中央電線穴に電線とアース線を通してから、本体内部の取付方向に従って付属の木ねじ2本で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

- 器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に必ず密着するようにしてください。
- 取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シール剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(図-1、図-2)
- 器具を逆に取り付けますと防水性が損なわれます。正しい向きでご使用ください。



(3)電線を結線してください。

速結端子台のストリップゲージにあわせて電線の被覆をむき、電線差込穴に奥まで差し込んでください。



(4)アース線をアースねじに接続してください。

(5)ランプをソケットに取り付けてください。

(6)グローブをまわして本体にしっかりと固定してください。

(7)ガードの固定ねじを本体の穴に合わせて、飾リナットでしっかりと締め込んでください。

(8)必要に応じて検知エリアを調整してください。
「4ページ」をご参照ください。

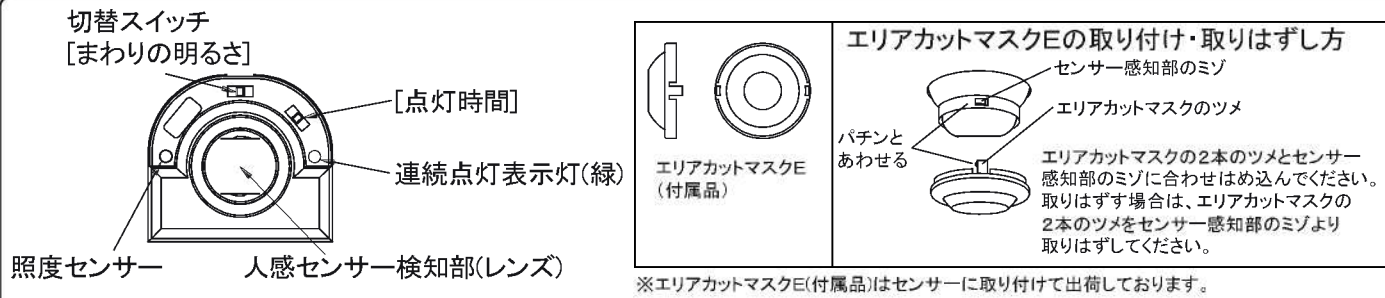
●確実に電線を接続する。
*接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災・感電の原因となります。

●電線の接続作業時は、必ず電源を切る。
*電源を切らないと感電の原因となります。

●アース線は、本体内部のアースねじに接続する。
アースを接続する

●取り付け後、本体を軽くひっぱり確実に付いているか確認する。
必ず守る
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

センサーの名称



・設置後検知エリアを決める。

- ・検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
(「テストモード」への設定は、・設定方法・テストモードを確認してください。)
- 1. 切替スイッチを「テストモード」に合わせる。
- 2. 壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
- 3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

テストモード 周囲の明るさに関係なく人を検知すると5秒間点灯します。
※出荷時は、テストモードに設定されています。

1. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。
まわりの明るさ
2. [点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。
点灯時間

検知エリア ※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)



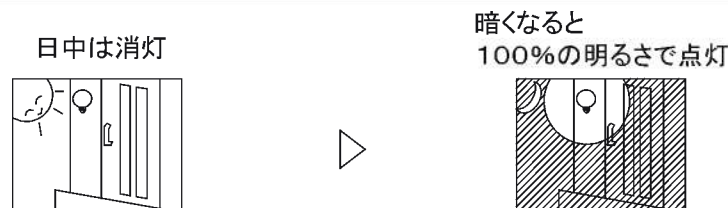
センサー機能について

- 人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、設定を変更できます。

人感センサーモード 暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい

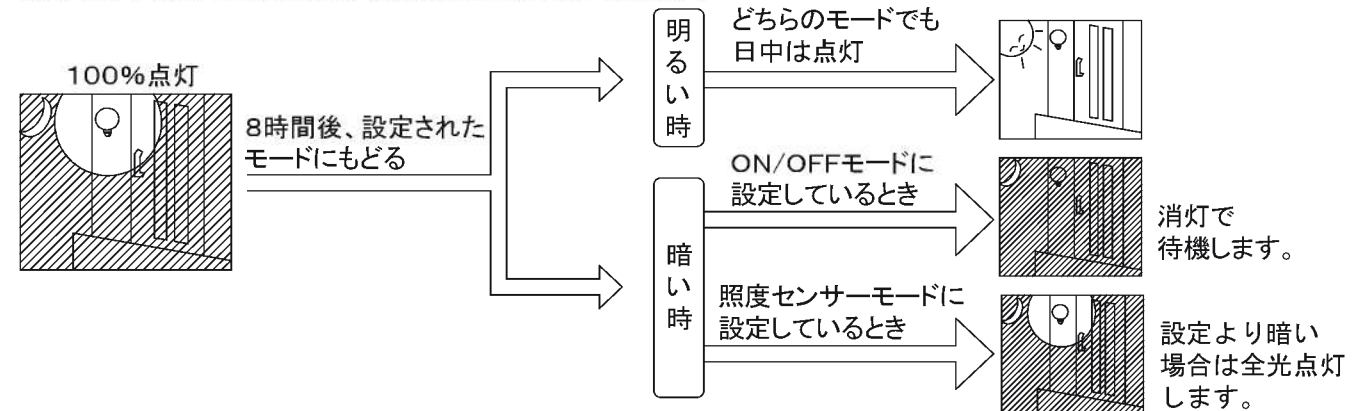


照度センサーモード 人の検知に関係なく一晩中点灯させたい



連続点灯モード まわりに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯(8時間)させることができます。



※連続点灯モード中に壁スイッチ操作(約1秒以内のOFF→ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができます。

設定方法

- ・壁スイッチをONすると約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
- ・使用中に切替スイッチを切り替えると、約5秒間消灯してから設定状態で動作します。
(連続点灯モードを除く)

人感センサーモード

1. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。
※「切」に設定しますと明るさに関係なく動作します。
 2. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。
- 「暗」: 約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」: 約45ルクス以下となると待機状態となります。
「切」: 照度センサーをOFFします。
明るさに関係なく待機状態となります。
- 「1分」: 約1分間点灯します。
「3分」: 約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたたり静止した後の点灯時間です。

照度センサーモード

1. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。
 2. [点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。
- 「暗」: 約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」: 約45ルクス以下となると待機状態となります。
「切」: 照度センサーをOFFします。
明るさに関係なく待機状態となります。

連続点灯モード

- ・連続点灯モード設定方法
 - ・連続点灯設定解除方法
1. 壁スイッチを一度OFFさせて
 2. 約1秒以内にONにする
- 約1秒以内にON
1. 壁スイッチを一度OFFさせて
 2. 約2秒以上でONにする
- 約2秒以上でON
- ※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。
- 壁スイッチをONした直後は、約1分間100%点灯します。約5秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。